

(昭和20年11月20日第3種郵便物認可)

第3255号

新聞 新馬 対

(1) 2000年(平成12年)9月29日(金曜日)

寸鉄言

○：韓国の金大中大統領が九州と韓国を結ぶ「日韓トンネル」で日本側と共同建設構想に強い関心を示しているという○：朝鮮半島の南北分断を象徴していた京義線(韓国ソウル―新義州間二十五キ)を再連結する復元工事がこのほど始まり、開通すれば南北と中国が結ばれ、その向こうには中央アジア、またシベリアを経由して欧州に至るという夢のルート実現が背景にあるようだ○：日韓トンネル構想は十年前、当時の盧泰愚韓国大統領が「玄海灘トンネル」構想にふれていてる(西日本新聞)という○：国際ハイクワイプロジェクト日韓トンネル研究会編集の日韓トンネル時報によると同構想は韓国と朝鮮人民共和国(北朝鮮)との首脳会談でも議題に上ったことがあるという。金大中韓国大統領は「日韓トンネルは日本から韓国―そして欧州まで行く新しい鉄のシルクロード誕生になり朝鮮半島全土の経済効果は大きい」と意欲的だと伝えられている○：このトンネル構想は旧国鉄などが既に地質調査などを実施。韓国からも現地調査が行われている。ルートは佐賀県呼子―壱岐―対馬―韓国釜山を結ぶ全長二百三十五キ。費用は五兆円、工事期間はおよそ二十年かかるという試算。巨額な費用を要するだけにそれぞれの国のバックアップが望まれる○：夢の日韓トンネル構想。二千年にはその夢が実現するかも……。